

武蔵野教育學論集第7号：目次,口絵,執筆要項,奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-07-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1301

武蔵野 教育学論集

第 7 号

目 次

非同期型 eラーニング環境における 社会的に共有された調整学習とその支援に関する考察	荒 木 貴 之	1
生徒会活動の実践と育つ力	小 澤 洋 祐・上 岡 学	19
教員養成課程の大学生が持つイギリスに対するイメージの変容 －体験学習が異文化適応能力深化に与えた効果－	岐 部 慶 子・櫻 井 千佳子	31
社会認識形成と世界像形成の統合による小学校社会科授業開発 －第4学年 単元「ゴミ処理から考えるこれからの社会」の場合－	佐 藤 克 士	47
地層観察学習による主体的・対話的で深い学びの実践 ～自然環境教育演習2における館山赤山地下壕の地層教材開発～	高 橋 典 嗣・下 村 知 愛	59
小学校国語科教育における言葉遊びの指導について	山 崎 淳	75
『声楽』履修学生の授業後の考察	市 川 礼 子・土 田 朋 子	83
子育て期の保護者における哲学対話の意義	生 井 亮 司・榎 田 二 三 子・義 永 睦 子	91
多様な動きの体験を目指した幼児の身体を動かす活動に関する考察 ～「運動」と「身体による表現」の複合型プログラムの実践から～	増 田 未 来・川 上 暁 子	103
保育・幼児教育におけるカリキュラムのイノベーションと課題 －保育所保育指針・幼稚園教育要領の改訂との関連に焦点を当てて－	小 川 房 子	117
◆◆◆ ◆◆◆		
漢字仮名交じりの書における「くりかえし符号（おどり字）」の使用法の研究 －現代での伝統をふまえた用法の提言－	廣 瀬 裕 之	144

THE BULLETIN OF MUSASHINO UNIVERSITY

Faculty of Education

No. 7

CONTENTS

A Study on Socially Shared Regulation of Learning and its Support in Asynchronous e-Learning Environment	ARAKI Takayuki	1
Student Council Activities and their Growth Potential	OZAWA Yosuke / UEOKA Manabu	19
Changing Images of Britain among College Students in Teacher Training Courses : The Effect of Experiential Learning on Deepening Intercultural Competency	KIBE Keiko / SAKURAI Chikako	31
Development of Elementary School Social Studies Lessons Based on Integration of Social Recognition Formation with World's Image Formation : A Case Study of "Considering Future Society from the Viewpoint of Garbage Disposal" of the Fourth Grade	SATO Katsushi	47
Practice of the Active Learning by the Fieldwork of The Stratum : Stratum Teaching Materials Development of the Tateyama-Akayama Tunnel in Environmental Education Practice 2	TAKAHASHI Noritsugu / SHIMOMURA Chie	59
A Study of Verbal Play in Japanese Language Education in Elementary Schools	YAMAZAKI Atsushi	75
Discussion of Changes after Completion in Students Who Have Taken Vocal Class	ICHIKAWA Reiko / TSUCHIDA Tomoko	83
Implications of Philosophical Dialogue by Parents of Child-rearing Period	NAMAI Ryoji / ENOKITA Fumiko / YOSHINAGA Mutsuko	91
A study on Activities of Young Children Aiming to a Diverse Movement Experience : A View from the Integration of Exercises and Physical Expressions	MASUDA Miku / KAWAKAMI Akiko	103
Curriculum Innovation and Issues in Childcare and Early Childhood Education : Focusing on the Relationship with Revising Nursery School Day Care Guidelines and Kindergarten Education Guidelines	OGAWA Fusako	117
————— ◆◆◆ ————— ◆◆◆ —————		
A Research on the Usage of "Repetitive Code (<i>Odori-ji</i>)" in the Kanji-kana Mixed Calligraphy (<i>Sho</i>) : A Proposal of Usage Based on the Tradition in Modern Age	HIROSE Hiroyuki	144



廣瀬 裕之（舟雲）

「花束を抱いて臃の人となる」（井上弘美句）[79 cm × 182 cm（額装）]

第71回毎日書道展（国立新美術館）2019

武蔵野教育学論集執筆要項

2013年10月10日制定

2016年7月14日改正

1 内容

- (1) 教育及び教職研究に関する学術論文
- (2) 教育学部所属教員の専門に関する学術論文
- (3) その他、編集委員会が認めたもの

2 投稿資格

学術論文に投稿できる者は、以下の者とする。

- (1) 教職研究センター員及び客員研究員
- (2) 教育学部専任教員
- (3) (1) または (2) を含む共同研究の場合は、他所属の研究者の執筆も可
- (4) 教職研究センターから依頼した者
- (5) 大学院生
- (6) その他、編集委員会が認めた者

3 倫理規定

執筆に際しては他人の著作権の侵害、名誉毀損、データの捏造、人権の侵害等の問題を生じないように十分に配慮しなければならない。倫理的な配慮が必要とされる学術論文等については、投稿者が所属する機関等の「倫理審査委員会」で承認を得たものに限り、学術論文等の中において、その旨を明記しなければならない。なお、万一掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められた場合、投稿者がその一切の責任を負うものとする。

4 公開

印刷冊子、および、武蔵野大学のホームページ上等で電子データとして公開する。

5 投稿方法

- (1) 投稿を希望する者は、指定された期日までに所定の「武蔵野大学教職研究センター紀要投稿申込書」を提出しなければならない。
- (2) 原稿は、指定された期日までに所定の書式で作成した完成原稿（紙面に打ち出したもの）とそのデータを提出しなければならない。
- (3) 写真や図表は鮮明なものを使用し、完成原稿中にその位置を明示すること。

6 投稿規定

- (1) 原稿は未発表のものに限る。
- (2) 原稿は1人1編に限る。但し、共同研究に関しては、編集委員会で審議する。
- (3) 原稿は、横書き及び縦書き両方可とし、題目に英訳を併記すること。
- (4) 字数等

①字数

16,000字（注、図表、写真、その他、を含む）以内を原則とする。

*横書きの書式は、1ページ43字×38行とする。

*縦書きの書式は、1ページ30字×25行の2段組とする。

*図表、写真は適宜文字数に換算する。

*図表、写真などが多いため他の原稿と比べて著しく費用がかかる場合、編集委員会は執筆者に負担を求めることができる。

②用語及び文体等

現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きにする場合は、カタカナとする。

③引用

引用や文献の参照については、細かく引用符や注を付け、剽窃を疑われないように細心の注意を払い、文献一覧のみではなく、引用・参照ページ等を特定できるようにしなければならない。引用書式については、個々の専門分野の学会誌などで使われているものに従う。

④見出し

*横書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、アラビア数字（1、2、3等）かローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ等）を使用する。

*縦書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、漢数字（一、二、三等）を使用することを原則とする。

⑤注

*横書きの場合、注番号は1、2、3等の上付きとする。

例：【正】●●●●¹。

*縦書きの場合、注番号は1、2、3等の数字をその該当部分（右横）にカッコをつけて記載する。

*注は必要最小限にとどめ、多くならないようにする。

(5) 校正

原稿は完成原稿を提出するものとし、校正段階では最小限の字句の訂正にとどめるものとする。校正は原則として執筆者が行い、校正済みの原稿は、編集委員会が指定した期日までに必ず返却しなければならない。

7 掲載の採否・順序等

(1) 掲載の採否は、編集委員会が決定する。

(2) 編集委員会は、原稿の書き直しを求めることができる。

(3) 掲載順序などの編集は編集委員会が行う。

(4) 査読規定については、別に定める。

(5) 執筆者には、紀要5部、別刷20部を無償で配布する。共同研究の場合も各執筆者に別刷20部ずつを無償で配布することを原則とする。それ以上の部数を希望する場合は、必要部数をあらかじめ編集委員会に申し込まなければならない。その場合、超過部数に関わる費用は執筆者の負担とする。

8 口絵として研究作品写真を掲載することができる。

(1) 研究作品は、原則としてその年度内に制作（展覧会等での発表を含む）したものとする。

(2) 研究作品の題名・制作年などを記し、鮮明な画像（写真又はデータ）を提出するものとする。

(3) 掲載の採否及び順序は、編集委員会が決定する。

9 その他

その他の事項については、編集委員会で決定する。

武蔵野教育学論集 第7号

2019年10月1日発行

編集 武蔵野教育学論集編集委員会

発行 武蔵野大学教育学研究所

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

電話 042-468-3290

印刷 株式会社 創文

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町13-1

電話 03-5643-3321
